

2020年度タイ国日本食レストラン調査

調査期間:

- ・店舗数調査: 2020年9月1日～10月31日
- ・状況ヒアリング調査(13社・団体): 2020年11月1日～12月10日

調査方法:

- ・各社ホームページ、Facebookページ
- ・関連する新聞マスコミ報道
- ・電話取材

対象店舗:

- ・日本食または日本風アレンジされた料理を提供する店
- ・日本食メニューが過半であること
- ・客席具備の外食店舗

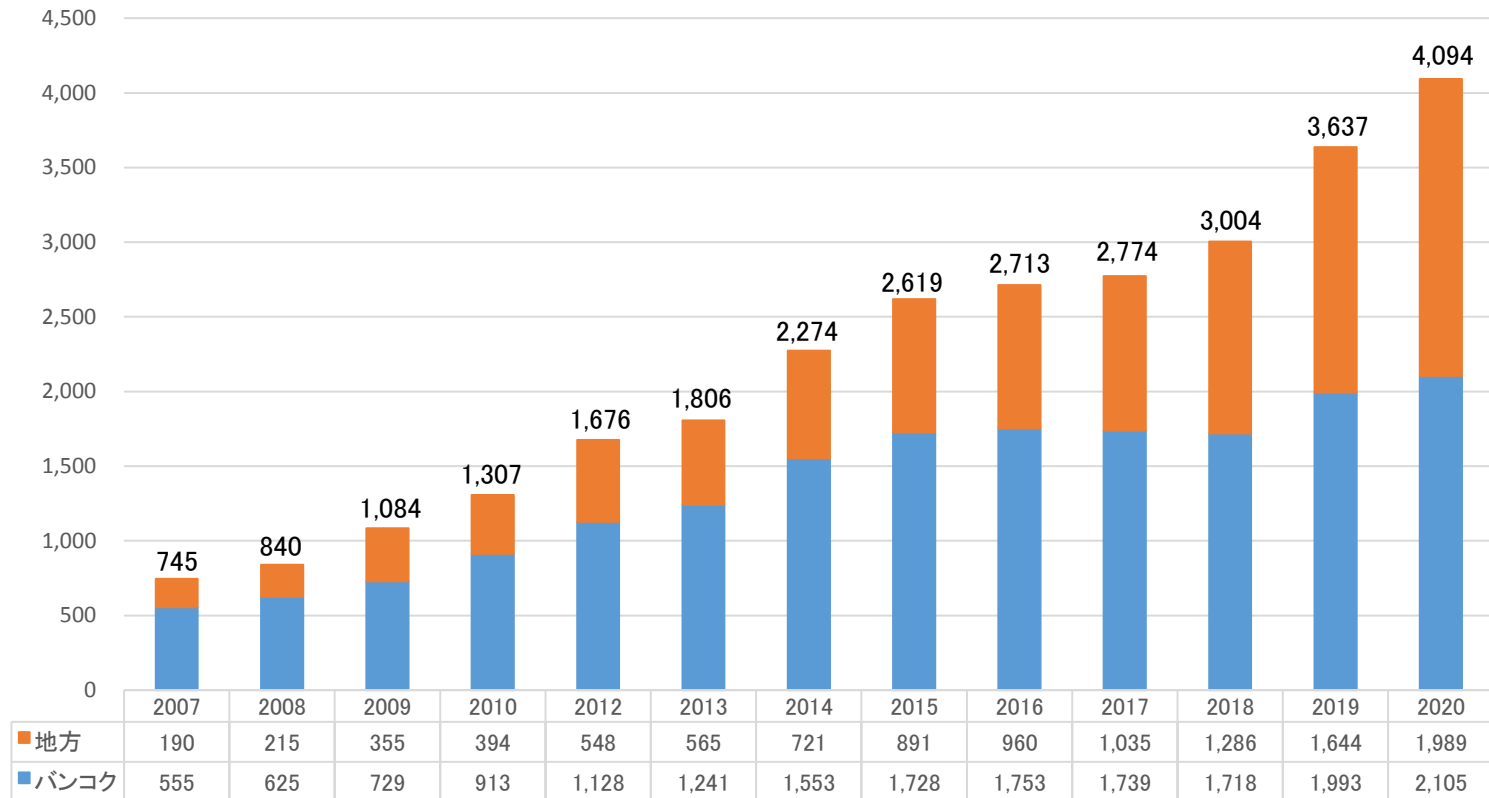
【分類方法】

日本食	料亭、懐石、郷土料理、総合和食店、定食、和食ファミレス
ラーメン	ラーメン店、餃子
すき/しゃぶ	すき焼き、しゃぶしゃぶ
居酒屋	居酒屋、焼き鳥店
焼肉	焼肉店
寿司/海鮮	寿司、魚介料理、海鮮料理店
丼専門	牛丼、天丼、豚丼、海鮮丼
喫茶	喫茶店、珈琲店、ケーキ店
洋食	洋食
揚げ物	豚カツ、串カツ、天ぷら
鉄板お好み	鉄板料理店、お好み焼き店、たこ焼き店
カレー/オムライス	カレーライス、オムライス
蕎麦うどん	蕎麦、うどん

タイにおける日本食レストラン店舗数の推移

- タイにおける日本食レストランは2000年頃から急増。日本食文化の浸透、価格帯の多様化による顧客層の拡大、バンコク以外における商業施設の増加等の要因により年々増加を続けている。
- 2020年は4,094店舗と前年から12.6%の増加。バンコクは2,105店舗と前年から5.6%の増加、地方は1,989店舗と前年から21%の増加となった。

図. タイにおける日本食レストラン数の推移(単位: 店舗)



※2011年は調査を実施せず

※2019年の店舗数調査時期は6月1日～8月20日、2020年の店舗数調査時期は9月1日～10月31日

日本食レストラン店舗数調査 業種別

- 寿司が前年から大幅に増加し、最も店舗数が多い業種に。フランチャイズ展開を進める寿司店により大幅に増加。
- 日本食レストラン(合計)の前年からの増加数1,183店舗、減少数(*)726店舗はともに過去最多。

表. 業種別店舗数まとめ(単位: 店舗、前年比=%)

業種	タイ全国						
	2017	2018	2019	2020			
				増加	減少	合計	前年比
寿司	256	457	688	504	154	1,038	50.9
日本食	769	797	945	225	155	1,015	7.4
ラーメン	357	386	429	57	66	420	-2.1
すき/しゃぶ	356	375	428	49	141	336	-21.5
居酒屋	290	246	283	65	63	285	0.7
焼肉	228	238	243	62	37	268	10.3
喫茶	100	84	149	78	22	205	37.6
丼専門	90	108	133	35	22	146	9.8
洋食	83	83	95	23	17	101	6.3
揚げ物	58	66	85	23	15	93	9.4
カレー/オムライス	51	50	60	38	7	91	51.7
鉄板お好み	64	52	55	20	8	67	21.8
蕎麦うどん	60	52	44	4	19	29	-34.1
宅配	12	10	-	-	-	-	-
合計	2,774	3,004	3,637	1,183	726	4,094	12.6

(*備考) 減少には、閉店店舗、期限付き又は無期限休業店舗、メニュー・業態の変更で日本食レストランには該当しなくなった店舗を含む。
 宅配は2019年から調査対象外。

日本食レストラン店舗数調査 地方・業種別

- 地方店舗の割合が増加傾向にあり、2017年の37.3%から2020年には48.6%に増加。
- 寿司、日本食(総合和食)は、地方の増加数がバンコクの増加数の約2倍。約6割が地方店舗となった。

表. 地方別、業種別店舗数まとめ(単位:店舗、前年比%)

業種	バンコク							地方							全国
	2017	2018	2019	2020				2017	2018	2019	2020				
				増加	減少	合計	前年比				増加	減少	合計	前年比	
寿司	202	271	346	166	79	433	25.1	54	186	342	338	75	605	76.9	1,038
日本食	417	385	423	75	67	431	1.9	352	412	522	150	88	584	11.9	1,015
ラーメン	205	219	246	32	38	240	-2.4	152	167	183	25	28	180	-1.6	420
すき/しゃぶ	152	156	168	21	43	146	-13.1	204	219	260	28	98	190	-26.9	336
居酒屋	232	184	200	42	41	201	0.5	58	62	83	23	22	84	1.2	285
焼肉	146	134	152	25	29	148	-2.6	82	104	91	37	8	120	31.9	268
喫茶	80	66	115	43	19	139	20.9	20	18	34	35	3	66	94.1	205
丼専門	54	66	85	22	10	97	14.1	36	42	48	13	12	49	2.1	146
洋食	63	62	69	14	11	72	4.3	20	21	26	9	6	29	11.5	101
揚げ物	50	56	73	13	14	72	-1.4	8	10	12	10	1	21	75.0	93
カレー/オムライス	39	40	43	22	6	59	37.2	12	10	17	16	1	32	88.2	91
鉄板お好み	37	28	35	13	6	42	20.0	27	24	20	7	2	25	25.0	67
蕎麦うどん	51	46	38	3	16	25	-34.2	9	6	6	1	3	4	-33.3	29
宅配	11	5	-	-	-	-	-	1	5	-	-	-	-	-	-
合計	1,739	1,718	1,993	491	379	2,105	5.6	1,035	1,286	1,644	692	347	1,989	21.0	4,094

店舗拡大規模別分析

- 2020年個店(1店舗のみ)の店舗数は1,381店舗。日本食レストラン全体の約1/3が個店。
- 日本食レストラン数全体における個店、多店舗展開ブランドの占める割合はほぼ前年同となっている。

表. 個店の店舗数および多店舗展開しているブランド数

(単位: 店舗・ブランド)

店舗数	2017年	2018年	2019年	2020年
1店舗	898	934	1,203	1,381
2~5店舗	158	192	248	277
6~10店舗	34	41	45	38
11~50店舗	28	30	34	41
51店舗以上	6	6	6	7

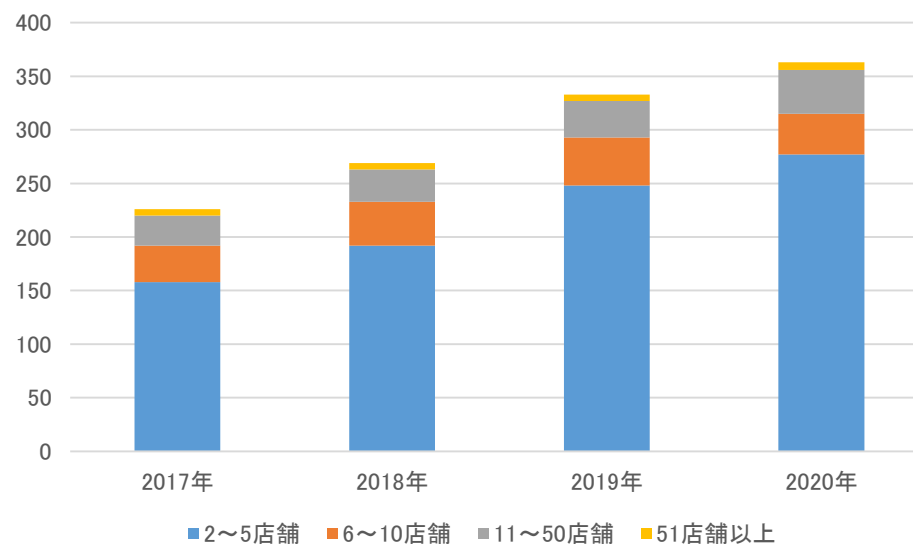
表. 多店舗展開(31店舗以上)を進めているブランドの例

ANI Sushi	OTOYA
Bake A Wish	Pepper Lunch
CoCoICHIBANYA	Shabushi
Fuji	SUKIYA
Hachiban Ramen	Sushi Mai
Kaiwan Bansushi	Yayoi
Katsuya	ZEN
OISHI RAMEN	

出所: 各社ウェブサイト、飲食店紹介ウェブサイトを元にJETRO/バンコク事務所作成

図. 多店舗展開を進めているブランド数の推移

(単位: ブランド)



日本食レストランの分布

- 店舗数2位はバンコクに次いで日本人が多く居住するチョンブリー県。3位のノンタブリー県は前年から86店舗と大幅に増加。
- 2018年・2019年調査では日本食レストランの営業を確認できなかった県があったが、2020年調査では全ての県で日本食レストランが営業されていることを確認。

図. 日本食レストランの分布

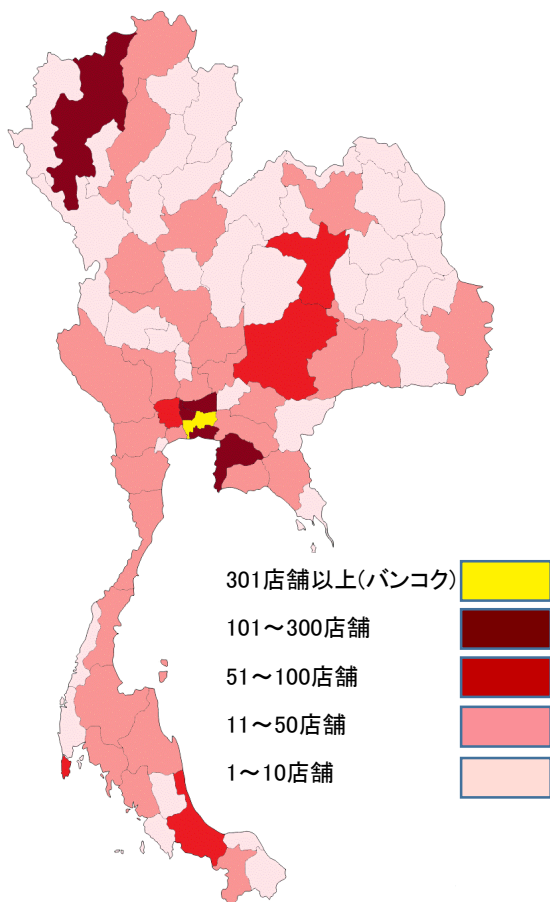


表. 各県の日本食レストラン店舗数、タイ人人口、観光客数、在留邦人数

順位	県名	2019年 (店舗数)	2020年 (店舗数)	増加 (店舗数)	減少 (店舗数)	人口 (万人)	人/店舗	在留邦人数 (人)	観光客数 (万人)
1	バンコク都	1,993	2,105	491	379	566	2,692	52,871	4,905
2	チョンブリー県	241	256	68	53	155	6,087	7,184	1,581
3	ノンタブリー県	170	256	111	25	126	4,943	700	107
4	チェンマイ県	152	162	43	33	177	10,983	2,489	892
5	サムットプラカーン県	116	129	32	19	134	10,425	1,130	120
6	パトゥムタニー県	94	102	25	17	116	11,408	1,211	70
7	プーケット県	74	69	20	25	41	6,037	715	1,383
8	ソンカラール県	47	68	28	7	143	21,117	86	623
9	ナコンラーチャシーマー県	60	63	15	12	264	42,046	594	580
10	ナコンパトム県	53	56	15	12	92	16,429	229	140
11	コンケン県	52	55	10	7	180	32,779	226	353
12	ラヨーン県	38	43	12	7	73	17,087	536	494
13	チェンライ県	23	40	20	3	129	32,458	401	324
14	スラターニー県	29	36	13	6	106	29,667	141	551
15	ウドンターニー県	24	29	10	5	158	54,712	170	276
16	アユタヤ県	24	28	10	6	82	29,292	1,117	169
17	ラーチャブリー県	16	27	14	3	87	32,337	44	104
18	ピサスローク県	20	25	9	4	86	34,610	68	202
19	ブラジュアップキリカン県	15	24	12	3	55	23,088	109	459
20	ウボンラーチャターニー県	19	24	10	5	187	78,256	59	181
	その他	377	497	215	95	3,687	74,202	2,674	6,002
	合計	3,637	4,094	1,183	726	6,655	16,258	72,754	19,516

出所：タイ国人口＝タイ国内務省(2019年年末時点)、観光客数＝タイ国観光およびスポーツ省(2019年)、在留邦人数＝日本国外務省(2017年10月時点)

新型コロナウイルス感染症発生に伴う飲食店関連の主な動き

- 3月22日 バンコク都はスーパーマーケット等を除くほぼ全ての商業施設を閉鎖
 飲食店はデリバリー・テイクアウト営業のみが可能に
- 3月26日 タイ政府による非常事態宣言発令
 商業施設の閉鎖措置が全国へ拡大、タイへの入国制限が発動
- 4月10日 バンコク都でのアルコール飲料販売禁止
 (他県も前後して類似規制を導入)
- 5月3日 飲食店の店内飲食解禁
 ソーシャルディスタンスの確保、感染防止措置の導入
- 6月15日 飲食店のアルコール飲料提供解禁
- ...
- 12月現在 新型コロナウイルス感染症発生前の客足・売上げに徐々に回復傾向
 店舗により回復度合いが異なる

出所:タイ政府発表、関係者からのヒアリング調査を元にJETRO/バンコク事務所作成

● 売上げ・客足は回復傾向

- 商業施設閉鎖期間中は、飲食店の売上げが大幅減。商業施設閉鎖期間後も、閉店、売却(経営者の変更)等が発生。

飲食店の売上げ 前年同期比 20~30%

(商業施設閉鎖期間(3月22日から5月17日)中のオンライン・デリバリー事業による売上げ、
2020年5月29日USDA-GAINレポート)

日本食レストランの売上げ 前年同期比 0~30%等(2020年4月時点に約40店舗からJETROバンコク事務所聞き取り)

- 日本食レストランは、タイ人顧客が従来から主要顧客の店舗、タイ人富裕層の利用が多い店舗を中心に、売上げ・客足は回復傾向。回復傾向を踏まえ、店舗数拡大を計画するブランドも存在。
- 顧客の支出抑制傾向、商業施設閉鎖期間中に広まった家庭内調理の習慣が一部続いていること等を背景に、完全売上回復(や前年同期比増)となっている店舗は少ない模様。
- 外国人観光客利用、日本人によるビジネス会食利用等の多かった店舗等は回復に特に遅れ。

2020年第3四半期日本食レストランの売上げ 前年同期比30~85%

(日本食レストランの大手チェーンの財務報告、店舗聞き取り等)

2020年の外食産業の市場規模は前年から9.7~10.6%縮小し3,850億~3,890億パーツになると予測
(2020年5月5日KASIKORN RESEARCH CENTER - ECON ANALYSIS)

● デリバリー事業の定着

- 商業施設閉鎖期間中、日本食レストランを含む飲食店によるデリバリー事業への参入・拡大、消費者による利用拡大。
- 商業施設閉鎖期間後は利用率は低下。他方、新型コロナウイルス感染症発生前よりも利用は増えているという見方が多く、今後も一定程度のニーズがある模様。

2020年のフードデリバリーの回数は前年から78~84%の増加になると予測

(2020年8月5日KASIKORN RESEARCH CENTER - ECON ANALYSIS)

出所: 日本食関係者へのヒアリング調査(11月1日~12月10日)、各社ウェブサイト等を元にJETROバンコク事務所作成